

各種基板の在庫状況

GCNC系の各種基板の在庫状況について！！

様々な機械で使われているGCNC系の各種基板の在庫状況をお知らせ致します。

下表の通り、在庫が無くなった基板が多数ございます。

これらの基板は、既に“生産中止”となり、“修理対応期間が過ぎた”ために入手もできず、代替手段が無いものもございます。⇒ **故障=生産停止となります**

もし、機械を複数台お持ちのお客様には、1台だけレトロフィット（電装の載せ替え）をして、その機械で使われていた各種基板を予備部品とするなどの対策をご検討下さい

＜在庫状況＞ **2013年5月31日現在の在庫状況です。**



番号	基板の名称	型式	在庫数	該当する制御システム (GCNC)						修理受付
				Z000	Z100	Z200	Z300	3000	5000	
1	CPU基板	3G8B3-M0003	0	●						×
2	CPU基板	3G8B3-M0020	0		●	●	●	●		×
3	CPU基板	SIS-MARK-LA	29						●	○
4	S-RAM基板	3G8B3-MA002	3	●						×
5	停電検出基板	3G8B3-AT000	1	●						×
6	RS422基板	ZY07-205	4	●						×
7	入出力基板	3G8BZ-NM001	0	●	●	●	●	●		×
8	PGインターフェイス基板	ZY07-203	5	●	●	●	●	●		×
9	SACON基板	ZY07-306/Z007-144	11	●	●	●	●	●		○
10	PMCON基板	ZY07-305	7	●	●	●	●	●		△
11	A/D変換基板	3G8BZ-NA000	0	●	●	●	●	●		△
12	D/A変換基板	ZY07-204	4	●	●	●	●	●		△
13	PC I/F基板	3G8B3-BP000	3	●	●	●	●	●		×
14	コンソール基板	Z007-116, 117, 118	0					●		△
15	割込み基板	3G8BZ-N1010	0					●		×
16	PC286 I/F基板 (PC用)	Z007-103	0		●	●	●			×
17	ROM-DISK基板 (PC用)	Z007-104	0		●					×
18	KB, CRT信号変換基板 (PC用)	Z007-143	0				●			×
19	シートキーパネル	ZY07-100	0	●						×
20	シートキーパネル	Z007-101	3		●	●	●			×
21	シートキーパネル	Z007-102	0					●		×
22	キーボードパネル	Z007-551	0						●	×
23	キーボード I/F基板	ZY08-100	0	●						×
24	キーボード I/F基板	Z007-109	0		●	●	●	●		△
25	DI0256基板	Z007-569	4						●	○
26	PIA基板	Z007-506	0						●	△
27	BIA基板	Z007-508	0						●	△
28	AXCON基板	Z007-558	4						●	△
29	ジョイント基板	Z007-573	1						●	×
30	I X A P基板	Z008-706	1						●	×

＜注意＞ (1) 各機械の仕様により使われる基板や枚数は異なりますので、実機または機械に添付されている電気図面で使用している基板や枚数をご確認願います。
 (2) 番号26, 27, 28は、部品の入手ができず“製造不能”の状態です。
 ↑
 △=故障部位により、修理不能の場合あり

保全ニュース - 第10号 2013年 梅雨号

新年度を迎えてから早2ヶ月が経ちました。季節も春から夏へと変わりゆく間の梅雨の時期を迎えております。保全ニュース第10号の発行となりました。

弊社4月に組織変更がありまして、保全サービス課も若干の変更がございましたのでご紹介いたします。所属部が営業部から工機二部になりました。また、制御設計のベテランが新たに加わりました。電気関係を増強し今まで以上に皆様のお役に立てればと思っております。何かありましたらお気軽にご相談下さい。その他メンバーは変わらず勤めさせていただきます。

第10号ではオーバホール事例、スピンドル載替えのご提案、電気在庫、ノブさんのワンポイント、パーツ情報を掲載してあります。

保全ニュースはSIIホームページで閲覧できます。1号から掲示してありますのでお時間のある時に覗いてみてください。アドレスは下記になります。

保全サービス課 増田

アドレスは <http://www.sii.co.jp/mt/hoz.html>

コウちゃんのパーツ情報

お客様各位
 保全サービス課営業及びパーツ担当の藤田です。暖かくなりましたが、まだまだ寒暖の差が激しいので、お体には十分お気をつけください。景気も円安の割で多少は持ち直していますが、まだまだ本格化には程遠い気がします。さてパーツ関係の納期ですが、特に大きな変化はありません。一部精密級のベアリングの納期が、掛かり始めていますが、在庫等でカバーしていきたいと思っております。

- 日立産機：高周波モータ 3ヶ月程度（高周波スピンドル、ドレッサ等に影響）
- ボールネジ関係 5~6ヶ月→現状3ヶ月強に改善されています。
- 組合アンギューラリング 3ヶ月程度（万能組合せ等で対応できるものは別途調整）
- 三菱製モータ 3ヶ月程度
- 三菱製ドライバ 1ヶ月程度
- ローカイト関係 3ヶ月程度
- 各種修理関係 2ヶ月程度（モータ、ドライバ関係）
- 高周波スピンドル修理関係 現状大幅に改善いたしました。お急ぎの際はご相談ください。（現状ベアリング交換で1ヶ月程度ですが、特急対応の場合は機種にもよりますが、1~2週間での対応もしております）

※貴社にて設備毎の重要パーツ等在庫するご計画の際はご相談ください。必要があればリスト等ご準備いたします。

お問合わせ先

セイコーインスツル株式会社 精機事業部 工機二部 保全サービス課

所在地 〒270-2222 千葉県松戸市高塚新田563

電話番号 047-392-7868 課長 増田 090-2621-1519

パーツ担当 藤田、電気担当 三代川、小林

FAX番号 047-392-7824 営業 藤田 090-8855-8038

ノブさんの！ワンポイントアドバイス

今月号は、フロッピーディスクドライブ（以下、「FDD」と記します）の取付けで、注意して頂きたい内容について説明させていただきます。

（制御システムに三菱PLCを使用している機械には、FDDは使っていません）

《1》 FDDには2種類の製品があります。

FDDには98系とDOS-V系の2種類の製品があり、機械によって使用されているものが異なります。

- ① 98系 …… SIG02, SIG03, SIG-SC系などで、GCNC2100やGCNC3000制御システムを搭載している機械です。
- ② DOS-V系 …… SIG02α, SIG-SC系などで、GCNC5000制御システムを搭載している機械です。

《2》 見分け方

2種類のFDDは、外見では判別することはできませんので、FDDに貼付されている型式で、どちらの製品かを見分けて下さい。

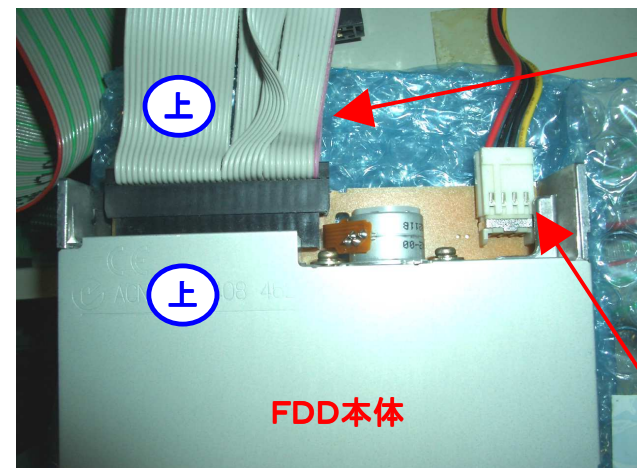


型式は、ここに記載されています。
 (FDT-135) = 98系
 (FDT-A135) = DOS-V系
 ※型式に「A」があるかないかの違いです。

【注意】
 オリジナルのFDDの場合は、型式が異なることがあります。

《3》 機械への取付け

FDDを機械に取り付ける時に、フラットケーブルを**逆向きに接続するとFDDが壊れることがあります**ので、接続する時はご注意ください。



フラットケーブルの片側には必ず赤線があり、その赤線側をFDDの内側に（電源コネクタ側）にして接続して下さい。
 【推奨】
 油性ペンなどで、ケーブルとFDDに合いマークを入れておくと誤挿入防止になります。（左記のⓈなど）

電源コネクタ
 逆向きには接続できない構造です。

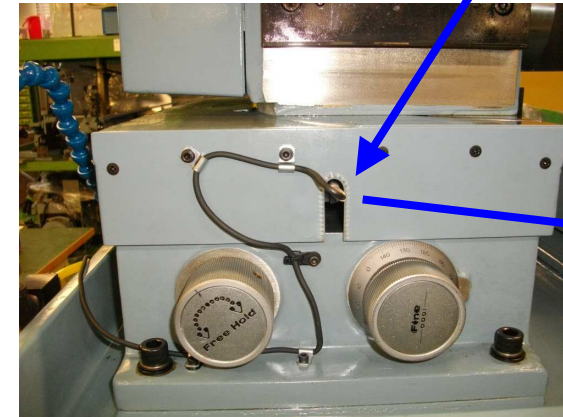
オーバホール事例紹介

1978年製造のSTG-3Aのオーバホール実施の事例です。（2013年5月実施）

電気系統はそのまま使用しました。主軸テーブルの切込み用電動トランスが壊れており、その型番は既に廃盤となっておりましたので、代替選定し取り付け部分も調整が簡単出来るように改造しました。ご用命あればご連絡下さい。青い矢印部分です。



（拡大写真）



（更に拡大）



高周波スピンドルM15Bをご使用のお客様に！！

高周波スピンドルM15B用のインバーター装置は、既に生産終了となり、修理の受付も終了しています。

また、各社で販売されているインバーターでM15B用のインバーター装置が製作できないかと検討しましたが、残念ながら「製作不可能」との結論となりました。

もし、今お使いのインバーター装置が故障した場合は「故障＝即機械停止」となることを理解頂いた上で、次のご提案をご検討下さるよう、よろしくお願い致します。

《ご提案》

高周波スピンドルM15Bを後継機種M15-3Pに改造することにより、上記問題点は解消されます。（現在、各社で販売されているインバーターが使えます）

ただし、ご提案内容を実現するには次の改造工事が必要です。

1. 高周波スピンドルM15Bを、後継機種M15-3Pに改造します。
2. M15-3P用のインバーター装置に交換します。
3. 機械にもよりますが、機械本体の改造が必要となる場合があります。

（インバーター装置との接続（起動信号や異常信号など）方法が異なるためです）
 お気軽にご相談下さい。